

平成 18年 12月期 個別中間財務諸表の概要

平成 18年 8月 18日

日東精工株式会社 上場会社名

上場取引所 東・大

コード番号

5 9 5 7

本社所在都道府県 京都府

(URL http://www.nittoseiko.co.jp/)

表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 由良龍文

問合せ先責任者 役職名 取締役企画・財務部門担当氏名 今川 和則

TEL (0773) 42 - 3111

決算取締役会開催日

平成 18年 8月18日 中間配当支払開始日 平成 18年 9月20日

単元株制度採用の有無 有 (1単元 1,000 株)

1.18年6月中間期の業績(平成18年1月1日~平成18年6月30日)

(1)経営成績

単位:百万円(未満切捨て)

	売 上	高	営 業	利 益	経常	利 益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年 6月中間期	11,552	8.0	1,406	40.3	1,635	39.7
17年 6月中間期	10,699	1.3	1,002	52.5	1,170	40.2
17年 12月期	21,514	1.7	1,798	23.9	2,009	22.7

	中間(当期)純利益			1株当たり中間(当期)純利益			
	百万円		%	円	銭		
18年 6月中間期	960	43.7		23	76		
17年 6月中間期	668	52.1		16	42		
17年 12月期	1,170	33.6		28	17		

(注) 期中平均株式数 18年 6月中間期 40,411,346 株 17年 6月中間期 40,695,818 株 17年 12月期 40,668,853 株

会計処理の方法の変更

売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)財政状態

_()					
	総 資 産	純 資 産	自己資本比率	1 株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
18年 6月中間期	23,952	10,730	44.8	265 64	
17年 6月中間期	23,029	9,632	41.8	236 75	
17年 12月期	22,341	9,956	44.6	245 73	

(注) 期末発行済株式数 18年 6月中間期 40,394,179 株 17年 6月中間期 40,686,295 株 17年 12月期 40,415,393 株 期末自己株式数 18年 6月中間期 590.838 株 17年 6月中間期 17年 12月期 298,722 株 569,624 株

2 18年 12日期の挙结予相 (平成 18年 1日 1日 ~ 平成 18年 12日 31日)

2 · 10 + 12/13/10/ 		<u> </u>	П
	売 上 高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	22,770	2,640	1,540

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)

38円 12 銭

3. 配当状況

・現金配当	1 株当たり配当金(円)							
	中間期末	期末	年間					
17年 12月期	3. 00	3.00	6.00					
18年 12月期 (実績)	4. 00		9.00					
18年 12月期 (予想)		4.00	8.00					

上記業績予想は、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれており、経済情勢・市場環境・ 為替変動などにかかわるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と異なる可能性があります。 なお、上記の予想に関する事項は、添付資料の5頁を参照して下さい。

中間貸借対照表

単位:千円(未満切捨て)

+	当中間	見期	 引 期	前	期	
期別	_		(平成17年6月		(平成 17 年12 月 31 日現在)	
科目	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
11 1	立 領	作り入し	<u> </u>	作ルルし		作り入しし
(資産の部)		%		%		%
流動資産	14,581,254	60.9	13,905,356	60.4	13,033,737	58.3
現金及び預金	1,814,799		2,312,428		1,354,822	
受 取 手 形	5,887,429		4,224,837		4,547,264	
売 掛 金	2,789,633		3,313,180		3,188,380	
たな卸資産	3,210,555		3,604,701		3,303,678	
未 収 入 金	739 ,616		320,472		461 ,826	
繰延税金資産	111 ,056		101,338		105,404	
その他	37,162		35,397		79,359	
貸倒引当金	9,000		7,000		7,000	
固定資産	9,371,631	39.1	9,124,294	39.6	9,307,886	41.7
有形固定資産	7,078,940	(29.6)	6,948,300	(30.2)	7,011,687	(31.4)
建物	1,959,939		2,009,997		2,040,174	
機械装置	1,211,373		988,601		1,006,093	
土 地	3,478,628		3,497,721		3,497,121	
その他	428,998		451,980		468,298	
無形固定資産	23,380	(0.1)	19,972	(0.1)	22,843	(0.1)
投資その他の資産	2,269,310	(9.4)	2,156,021	(9.3)	2,273,356	(10.2)
投資有価証券	1,278,313		1,183,332		1,247,378	
長期貸付金	114		450		198	
繰延税金資産	827,945		817,388		866,282	
その他	163,937		157,849		162,496	
貸倒引当金	1,000		3,000		3,000	
資 産 合 計	23,952,885	100.0	23,029,650	100.0	22,341,623	100.0

単位:千円(未満切捨て)

#0 01	当 中 間	———— 期	前中間	———— 期	前	期
期別	(平成18年6月3		(平成17年6月3		(平成17年12月31日現在)	
科目	<u></u> 金額	構成比	金額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流 動 負 債	8,916,622	37.2	8,518,653	37.0	7,561,619	33.8
支 払 手 形	1,467,660		3,184,231		1,324,609	
置 掛 金	1,218,437		1,363,096		1,122,468	
短 期 借 入 金	1,619,000		1,780,000		1,699,000	
一年以内返済予定の長期借入金	495,500		381,200		335,000	
未 払 金	2,204,419		155,511		1,874,086	
未 払 費 用	844 ,502		857,604		287,116	
未 払 法 人 税 等	595 ,049		377,385		399,957	
未 払 消 費 税 等	66,709		53,102		64,566	
賞 与 引 当 金	89,000		104,000		89,000	
その他	316,343		262,521		365,815	
固定負債	4,305,815	18.0	4,878,424	21.2	4,823,819	21.6
長 期 借 入 金	1,250,000		1,745,500		1,578,000	
退職給付引当金	1,704,176		1,801,010		1,899,413	
役員退職引当金	104 ,050		86,600		98,400	
債務保証損失引当金	1,130,000		1,130,000		1,130,000	
そ の 他	117,589		115,313		118,006	
負 債 合 計	13,222,438	55.2	13,397,077	58.2	12,385,439	55.4

単位:千円(未満切捨て)

期別	当	中間	期	前	中間	期	前	期
	(平成 18 年 6 月 30 日現在)		30 日現在)	(平成 17 年 6 月 30 日現在)			(平成17年12月31日現在)	
科目	金	額	構成比	金	額	構成比	金額	構成比
(資本の部)			%			%		%
資 本 金				3,52	2,580	15.3	3,522,580	15.8
資本剰余金				2,78	34,288	12.1	2,784,288	12.5
資本準備金				88	80,645		880,645	
その他資本剰余金				1,90	3,643		1,903,643	
利益剰余金				3,26	9,443	14.2	3,649,676	16.3
任 意 積 立 金				2,48	34,751		2,484,751	
中間(当期)未処分利益				78	34,692		1,164,924	
(うち中間(当期)純利益)				(66	8,233)		(1,170,524)	
その他有価証券評価差額金				11	0,230	0.4	151,591	0.7
自 己 株 式				5	3,969	0.2	151,950	0.7
資 本 合 計				9,63	32,573	41.8	9,956,184	44.6
負債及び資本合計				23,02	29,650	100.0	22,341,623	100.0

単位:千円(未満切捨て)

期別	当 中 間 (平成 18 年 6 月	引 期 30 日現在)	前 中	間 期 30 日現在)	前 (平成 17 年 12 月	期 31 日現在)
科目	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
(純資産の部)		%		%		%
株主資本	10,603,613	44.3				
資 本 金	3,522,580	(14.7)				
資本剰余金	2,784,288	(11.6)				
資本準備金	880,645					
その他資本剰余金	1,903,643					
利益剰余金	4,463,762	(18.7)				
配当準備積立金	145,000					
買換資産圧縮積立金	356,525					
別途積立金	2,800,000					
繰越利益剰余金	1,162,237					
自己株式	167,017	(0.7)				
│ │評価・換算差額等	126,833	0.5				
その他有価証券評価差額金	126,833	(0.5)				
純 資 産 合 計	10,730,446	44.8				
負債純資産合計	23,952,885	100.0				

中間損益計算書

単位:千円(未満切捨て)

期別	自 平成18年	引期 :1月 1日 :6月30日	自 平成17年	間 期 :1月 1日 :6月30日	前 自 平成17年 至 平成17年1	
科目	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
		%		%		%
売 上 高	11,552,110	100.0	10,699,457	100.0	21,514,569	100.0
売 上 原 価	8,704,482	75.3	8,204,727	76.7	16,743,991	77.8
売 上 総 利 益	2,847,627	24.7	2,494,729	23.3	4,770,577	22.2
販売費及び一般管理費	1,441,221	12.5	1,492,244	13.9	2,972,301	13.8
営 業 利 益	1,406,406	12.2	1,002,485	9.4	1,798,276	8.4
営 業 外 収 益	269,170	2.3	224,017	2.1	305,699	1.4
受取利息及び配当金	141,947		143,351		148,620	
雑 収 入	127,222		80,665		157,079	
営 業 外 費 用	40,317	0.3	55,957	0.6	94,777	0.4
支 払 利 息	29,754		38,638		74,695	
雑 損 失	10,563		17,319		20,082	
経 常 利 益	1,635,259	14.2	1,170,545	10.9	2,009,198	9.4
特 別 利 益	1,606	0.0	13,935	0.1	13,976	0.0
固定資産処分益	1,606		2,715		2,756	
貸倒引当金戻入額			11,219		11,219	
特 別 損 失	17,182	0.2	28,681	0.2	41,847	0.2
固定資産処分損	17,182		28,681		41,847	
税引前中間(当期)純利益	1,619,683	14.0	1,155,798	10.8	1,981,328	9.2
法人税、住民税及び事業税	609,742	5.3	376,644	3.5	781,112	3.6
法人税等調整額	49,607	0.4	110,920	1.1	29,691	0.2
中間(当期)純利益	960,333	8.3	668,233	6.2	1,170,524	5.4
前 期 繰 越 利 益			116,458		116,458	
中間配当額					122,058	
中間(当期)未処分利益			784,692		1,164,924	

中間株主資本等変動計算書

単位:千円(未満切捨て)

当中間会計期間(自 平成18年1月1日 至 平成18年6月30日)

	株主資本							
	次十人	資本	剰余金	その他利益剰余金				
	資本金	資本準備金	その他 資本剰余金	配当準備 積立金	買替資産圧縮 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金	
平成17年12月31日残高	3,522,580	880,645	1,903,643	145,000	359,751	1,980,000	1,164,924	
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当							121,246	
役員賞与の支給							25,000	
中間純利益							960,333	
自己株式の取得								
買替資産圧縮積立金の取崩					3,226		3,226	
別途積立金の積立						820,000	820,000	
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)								
中間会計期間中の変動額合計	-	-	-	-	3,226	820,000	2,686	
平成18年6月30日残高	3,522,580	880,645	1,903,643	145,000	356,525	2,800,000	1,162,237	

	株主	資本	評価・換算	算差額等	体资产 合制	
	自己株式	株主資本合計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計	純資産合計	
平成17年12月31日残高	151,950	9,804,593	151,591	151,591	9,956,184	
中間会計期間中の変動額						
剰余金の配当		121,246			121,246	
役員賞与の支給		25,000			25,000	
中間純利益		960,333			960,333	
自己株式の取得	15,066	15,066			15,066	
買替資産圧縮積立金の取崩		-			-	
別途積立金の積立		-			-	
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)			24,757	24,757	24,757	
中間会計期間中の変動額合計	15,066	799,019	24,757	24,757	774,261	
平成18年6月30日残高	167,017	10,603,613	126,833	126,833	10,730,446	

中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

1) たな卸資産

	区分	評価方法	評価基準
製	ファスナー	移動平均法	原 価 法
	制御システム	移動平均法	原 価 法
品	産機	個 別 法	原 価 法
什	ファスナー	先入先出法	原 価 法
仕掛品	制御システム	先入先出法	原 価 法
нн	產機	個 別 法	原 価 法
	原材料·貯蔵品	移動平均法	原 価 法

2) 有価証券

子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価の有るもの

中間決算日の市場価格等に基づく時価法

(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております)

時価の無いもの

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

1) 有形固定資産

定率法によっております。ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額 法を採用しております。なお、主な耐用年数は、以下のとおりであります。

建物......7年~50年

機械装置...7年~13年

2) 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法、それ以外の無形固定資産については、定額法を採用しております。

3. 引当金の計上基準

1) 貸倒引当金

売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権 については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

2) 賞与引当金

従業員への賞与の支出に備えるため、支給対象期間に応じた支給見込額を引当計上しております。

3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、退職給付会計基準変更時差異 2,368,138 千円のうち、1,310,077 千円を退職給付信託設定により一時償却 し、残額 1,058,061 千円を10年による按分額で費用処理しております。また、数理計算上の差異については、発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれ発生した期の翌期から費用処理しております。

4) 役員退職引当金

役員の退職金支出に備えるため、役員退職金内規により算定した所要見込額を計上しております。

5) 債務保証損失引当金

債務保証に係る損失に備えるため、債務保証先の財政状態の実情を勘案し、個別検討による必要額を見積計上しております。

4.外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、中間決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5.リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取 引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. ヘッジ会計の方法

1) ヘッジ会計の方法

金利スワップの特例処理の要件を充たす金利スワップについては、特例処理によっております。

2) ヘッジ手段とヘッジ対象

主なヘッジ手段とヘッジ対象は次のとおりであります。

____へッジ手段____ へッジ対象 ___ 金利スワップ取 借入金 引

3) ヘッジ方針

当社は通常業務を遂行する上で金利リスクにさらされており、このリスクをヘッジする手段としてのデリバティブ取引を行っており、投機目的のデリバティブ取引は行っておりません。

4) ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ手段の固定元本金額とヘッジ対象の元本金額が一致しており、金利スワップの特例処理の要件に該当すると判定されるため、当該判定をもって有効性の判定に代えております。

7.その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。 なお、仮受消費税等と仮払消費税等は相殺の上、未払消費税等として表示しております。

「会計処理の変更]

(固定資産の減損に係る会計基準)

当中間会計期間より、固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会平成14年8月9日))及び「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第6号平成15年10月31日)を適用しております。これによる損益への影響はありません。

(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準)

当中間会計期間より、「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成 17 年 12 月 9 日 企業会計基準第 5 号)及び「貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準等の適用指針」(企業会計基準委員会 平成 17 年 12 月 9 日 企業会計基準適用指針第 8 号)を適用しております。これによる損益に与える影響はありません。なお、従来の「資本の部」の合計に相当する金額は 10,730,446 千円であります。

[注記事項]

(中間貸借対照表関係)

当中間会計期間末 平成18年 6 月30日現在	前中間会計期間末 平成17年6月30日現在	前事業年度末 平成17年12月31日現在
1. 有形固定資産減価償却累計額	1. 有形固定資産減価償却累計額	1. 有形固定資産減価償却累計額
14,034,250 千円	14,034,171 千円	14,035,147 千円
2. 担保資産及び担保付債務	2. 担保資産及び担保付債務	2. 担保資産及び担保付債務
長期借入金 1,380,000 千円(1年	長期借入金 1,638,200 千円(1年	長期借入金 1,486,000 千円(1年
以内返済予定額 210,000 千円含む)	以内返済予定額 258,200 千円含む)	以内返済予定額 212,000 千円含
に対し、2,905,696 千円の資産を担	に対し、2,982,638 千円の資産を担	む)に対し、2,985,583 千円の資産を
保に供しております。このうち工場	保に供しております。このうち工場	担保に供しております。このうち工
財団担保は、1,721,832 千円であり	財団担保は、1,810,746 千円であり	場財団担保は、1,763,160 千円であ
ます。	ます。	ります。
3. 偶発債務	3. 偶発債務	3. 偶発債務
借入金に対する債務保証額	借入金に対する債務保証額	借入金に対する債務保証額
1,140,015 千円	1,501,690 千円	1,318,114 千円
なお、和光株式会社及びVSI	なお、和光株式会社及び VSI	なお、和光株式会社及びVSI
AUTOMATION ASSEMBLY, INC. つきまし	AUTOMATION ASSEMBLY, INC. つきまし	AUTOMATION ASSEMBLY, INC.につきま
ては、それぞれ債務保証損失引当金	ては、それぞれ債務保証損失引当金	しては、それぞれ債務保証損失引当
設定額 1,000,000 千円 130,000 千円	設定額 1,000,000 千円、130,000 千	金設定額 1,000,000 千円、130,000
│ を控除して記載しております。 │ 4. 手形割引高	│ 円を控除して記載しております。 │ 4. 手形割引高	│千円を控除して記載しております。│ │4. 手形割引高
4. チル割す 6 受取手形割引高	4. チルあっに 受取手形割引高	サル・テルを10回 受取手形割引高
	支税子が割り間 1,150,080 千円	(文
5.	5.	5. 決算期末日満期手形の会計処理
		について
		決算期末日満期手形の会計処理
		については、当事業年度末日は休
		日でしたが、満期日に決済が行わし
		│ れたものとして処理をしておりま │ │ す。
		9。 当事業年度末日満期手形は次の
		とおりであります。
		受取手形 22,589 千円
		割引手形 345,501
		支払手形 125,761

(中間損益計算書関係)

() + 200 (0.00)				
当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度		
自 平成18年1月1日	自 平成17年1月1日	自 平成17年1月1日		
至 平成18年6月30日	至 平成17年 6 月30日	至 平成17年12月31日		
1. 減価償却実施額	1. 減価償却実施額	1. 減価償却実施額		
(イ)有形固定資産 165,238 千円	(イ)有形固定資産 154,470 舌	(イ)有形固定資産 331,787		
(口)無形固定資産 1,027	(口)無形固定資産 614	(口)無形固定資産 1,514		
計 166,265	計 155,085	計 333,301		

(中間株主資本等変動計算書関係) 当中間会計期間(自 平成 18 年 1 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 30 日)

株式の種類	前事業年度末	増加	減少	当中間会計期間末
普通株式(株)	569,624	21,214	-	590,838

(注)普通株式の自己株式の増加 21,214 株は、単元未満株式の買取りによるものであります。

(リース取引関係)

当中間会計期間 自 平成18年1月1日 至 平成18年6月30日

サイズ 10年 6 月30日 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引

1.リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	中間期末 残高 相当額
機械装置	千円 81,277	千円 69,481	千円 11,795
その他	275,022	94,826	180,196
合計	356,300	164,307	191,992

- (注) 取得価額相当額の算定は、未経過リース料中間期末残高が有形固定資産の中間期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法によっております。
- 2. 未経過リース料中間期末残高相当額

1年以内56,591^{千円}1年超135,401合計191,992

- (注) 未経過リース料中間期末残高相当額の算定は、有形固定資産の中間期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法によっております。
- 3. 支払リース料及び減価償却費相当額 支払リース料 29,605^{千円} 減価償却費相当額 29,605
- 4. 減価償却費相当額の算定方法 リース期間を耐用年数とし、残存価額を 零とする定額法によっております。

- 前中間会計期間 自 平成17年1月1日 至 平成17年6月30日
- リース物件の所有権が借主に移転す ると認められるもの以外のファイナン ス・リース取引

1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び中間期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	中間期末 残高 相当額
機 械 装置	千円 130,021	千円 108,066	千円 21,955
その他	302,593	194,162	108,430
合計	432,614	302,228	130,385

(注) 同左

2. 未経過リース料中間期末残高相当額

1 年以内43,821 ^{千円}1 年超86,564合計130,385

(注) 同左

- 3. 支払リース料及び減価償却費相当額 支払リース料 30,714^{千円} 減価償却費相当額 30,714
- 4. 減価償却費相当額の算定方法 同左

前事業年度 平成17年1月1日 平成17年12月31日

リース物件の所有権が借主に移転 すると認められるもの以外のファイ ナンス・リース取引

1. リース物件の取得価額相当額、減価 償却累計額相当額及び期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末 残高 相当額
機械装置	千円 130,021	千円 113,145	千円 16,875
その他	341,690	215,922	125,767
合計	471,711	329,068	142,642

- (注) 取得価額相当額の算定は、未経過 リース料期末残高が有形固定資産の期 末残高等に占める割合が低いため、支払 利子込み法によっております。
- 2. 未経過リース料期末残高相当額

1年以内44,799^{千円}1年超97,843合計142,642

(注) 未経過リース料期末残高相当額の算定は、有形固定資産の期末残高等に占める割合が低いため、支払利子込み法によっております。

- 3. 支払リース料及び減価償却費相当額 支払リース料 57,554^{千円} 減価償却費相当額 57,554
- 4. 減価償却費相当額の算定方法 同左

(有価証券関係)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
自 平成18年1月1日	自 平成17年1月1日	自 平成17年1月1日
至 平成18年6月30日	至 平成17年6月30日	至 平成17年12月31日
子会社及び関連会社株式で時価のある ものはありません。	同左	同左

(ストックオプション)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
自 平成18年1月1日	自 平成17年1月1日	自 平成17年 1 月 1 日
至 平成18年6月30日	至 平成17年6月30日	至 平成17年12月31日
該当事項はありません。	同左	同左

(1株当たり情報)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
自 平成18年1月1日	自 平成17年 1 月 1 日	自 平成17年 1 月 1 日
至 平成18年6月30日	至 平成17年 6 月30日	至 平成17年12月31日
中間連結財務諸表を作成しているた め、記載を省略しております。	同左	同左

(重要な後発事象)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
自 平成18年1月1日	自 平成17年1月1日	自 平成17年 1 月 1 日
至 平成18年6月30日	至 平成17年6月30日	至 平成17年12月31日
該当事項はありません。	同左	同左